



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 10月19日 第721回例会

卓話

「ロータリー財団の現状と将来」

2750地区ロータリー財団委員長 新藤 信之 氏
東京立川こぶしRC会員

先週報告 10月12日 第720回例会

◎幹事報告

第3回クラブ協議会を、「こころの不良債権と職業奉仕」というテーマで11月9日（金）例会後（13:40～15:00）‘八雲の間’で開催します。全会員の出席をお願いします。

◎国際奉仕委員会報告（島田委員長）

今月は米山月間、来月はロータリー財団月間です。米山功労者、ポールハリスフェローへのご寄付お願いします。厳しい時にこそ、困った人達への支援が重要ではないでしょうか。

◎雑誌委員会報告（庄司委員長）

10月は「職業奉仕月間」です。「ロータリーの友」10月号p13に、昨年の10月号に続いて「職業奉仕を読もう」というタイトルで、各クラブの職業奉仕の具体的な事例が紹介されています。併せて職業奉仕についての理論や解説書が紹介されています。一読をお勧めいたします。

◎出席委員会報告（高須委員長）

本年度当クラブの出席率が、地区でワースト3に入っています。メンバーシップ率の低下も目立ち、80%を割りかねません。出席率向上に向けて、会員皆様のご努力をお願いします。

◎親睦委員会報告（高須副委員長）

11月7日（水）相模原ゴルフクラブでの親睦ゴルフ会への参加希望者は、10月19日までに事務局へお申し込み下さい。

◎慶事披露 誕生日祝い／吉岡琢磨君（10月13日）、加藤昌明君（10月16日）

◎出席報告 会員70名・出席40名・欠席30名（出席規定免除者6名） ビジター4名 【9月平均出席率75.18%】

新会員歓迎会報告

本年度第一回目の新会員歓迎会が、10月12日（金）時節柄戒厳令の下での警備の様な物々しさの中、飯倉は狸穴の岡、東京アメリカンクラブで、38名の出席者を迎え開催された。会場内は外の警戒とは打って変わって和やかな雰囲気、圓谷会員の軽妙な司会でスタート。谷村副会長の挨拶の後、清原親睦委員長による岸、伯井両新会員の紹介（写真：左下）、新会員による挨拶と続き、渡部元会長の乾杯で食事歓談が始まった。楽しい会は時の経つのも早いもの、高須親睦副委員長の閉会の辞に続き、全員で記念撮影をしてお開きとなった。その後有志19名が1階のワインバーに行き、2次会を楽しんだ。（岩上 記）

出席者（敬称略・順不同）：青野、荒木、伯井夫妻、早川、市川、入沢、石井夫妻、石東夫妻、岩上、加藤、勝山、川鍋、岸夫妻、清原夫妻、小杉（眞）、小杉（修）、村山、二宮、尾上、尾関、佐々木、新保、庄司、高須夫妻、武下、谷村、立林夫妻、圓谷、渡部、山根、吉岡



次週予告 10月26日 第722回例会

R I 第2750地区 地区大会に振替

◇地区大会プログラム◇

大会第1日目[10月25日（木）]

会場：新高輪プリンスホテル 国際館パミール崑崙

本会議 …………… 13:00～17:00

オープニングパーティ …………… 17:10～18:30

R I 会長代理ご夫妻歓迎パーティ …………… 18:45～20:45

大会第2日目[10月26日（金）]

会場：新高輪プリンスホテル 飛天

本会議 …………… 9:00～15:00

（昼食 11:45～12:45）

次々週予告 11月2日 第723回例会

次年度（2002～2003年度）理事・役員候補者指名

卓話予定 イニシエーションスピーチ

「米国日帰り出張の実現を目指して」

ハッチンソンテクノロジー日本担当マネジャー

当クラブ会員 早川 清隆 君

新会員ご夫妻

新会員歓迎会報告より



「エンジニアリング会社とERP」

東洋ビジネスエンジニアリング顧問 山根 一剛
当クラブ会員

「ERP」とは、Enterprise Resource Planningの略で企業が生産、販売、在庫、購買、物流、会計、人事などの各部分を個々バラバラに管理するのではなく、統合されたコンピュータソフトで管理する手法で、このコンピュータソフトを「ERPパッケージ」と呼ぶ。



製造業のIT化は1980年代の中頃までは、機械設備のコンピュータ化(自動化)の時代であり、Factory Automation (FA)の時代と言われる。この時代の先駆けは、コンピュータプログラムで機械を動かすComputer Aided Manufacturing (CAM)と言われるものである。設計の分野ではプロセス設計、機器設計、土建設計等をコンピュータで行い図面を作成するComputer Aided Design (CAD)やComputer Aided Engineering (CAE)技術が大型コンピュータを使用して急速に進歩した。

80年代の後半においては、製造ラインとか工場全体をコンピュータを使って動かすFAに続いて、製品の製造のみではなくこれと販売、技術開発を統合してコンピュータで管理するComputer Integrated Manufacturing (CIM)が出現した。

一方、1965年頃から業務管理分野でのコンピュータの活用が本格的に始まり、1991、2年頃からは工場管理のみでなく、財務会計、人事、営業活動、生産、物流まで企業活動全体を統合的にコンピュータ化する「ERP」の時代となって、IT化のキーワードは「ERP」へと変わって来た。

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(B-ENG)の親会社の東洋エンジニアリング株式会社(TEC)は化学プラントのCAM、CAD技術の外販を行い、これをビジネス化していた。時が進んでFA、CIMの時代になると化学会社のみならず、一般の組立加工会社の生産ラインや工場をIT化する業務を手がけ、これらの経験を通じて単に工場のIT化のみならず、業務系の管理を含めて会社全体を統合的にコンピュータ管理する、「ERP」と言うコンセプトの導入が必要であることを察知した。TECは海外の石油化学会社などの生産プロセス技術の導入に大きな実績があり、海外の技術動向には敏感であったことが幸いして、1989年にドイツのSAP社が開発したERPパッケージを日本に輸入し、日本語化した上で製薬会社のERPシステムを構築・納入した。これがTECがERP事業を本格的に手がける第一歩となった。B-ENGはTECのERPの日本への導入から丁度10年後の1999年にTECのIT事業を承継して、分離独立して誕生した。

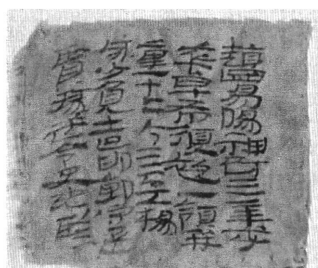
企業がERPパッケージを採用するということは、例えば部門、組織の壁を取り去るような企業の業務プロセスの改革を伴うものである。会社の業務プロセスを改革し、会社を変革するという強い意思がないと、ERPの導入は成功しない。そのためには、経営トップのリーダーシップと社員一人一人の意識改革が必要である。

謎の漢代の帛書

1901年にスウェーデン・ヘーデンが、中央アジアのタクラマカン砂漠の《さまよえる湖》として知られるロプ・ノール北岸のオアシス国家の楼蘭の故郷址で発掘した、魏・晋年代(3~4世紀)の残紙と木簡(漢文文書)をはじめとする第一級の考古民族資料が、実に80年ぶりに海外(日本)で公開される運びとなった。

私は「ヘーデンと楼蘭王国展」(朝日新聞社・西武百貨店主催)の取材スタッフの唯一人の書道家として、1988年4月4日にストックホルム東郊のスウェーデン国立民族学博物館を訪れた。翌5日と6日の両日、同館の地階の広大な収蔵庫の一角に陣取り、私が担当する残紙・木簡の調査と撮影に熱中した。

6日の昼すぎ、東アジア博物館でテキスタイル及びチベット関係の展示品のリスト作成に出向いていたスタッフから、絹に書いた漢字資料が発見されたから至急来て呉れ、との連絡が入った。意外な発見に驚いた私達は市中の王宮に程近いシエプスホルメン島の東アジア博物館に急行した。私達が到着するや、テキスタイル班やチベット班のスタッフが集まってきて、例のモノはこれですよ、と大小二点の帛書を指し示した。



私は一瞬わが眼を疑った。このモノはまさに漢代の帛書である。この漢の帛書は、大きい方はタテ25cm、幅は広い所は9cm、但し左辺から5cmの所でタテに縫い合わせてあり、同筆であるが内容は異なる書信である。漢代の通行書体の隸書

で非常に熟達した筆致である。小さい方は、タテ3.5cm、ヨコ4.0cmの方形(挿図)で、辺縁に縫った痕がある。これには神爵3年(59B.C.)の紀年があり、資料として重要性が高い。

この二点の漢帛書を持ち帰った人物は、ヘーデンの1927年の第4次の最後の探検に加わったスウェーデンの考古学者、フオルケ・ベリマンに違いない。しかし、1931年に北京に持ち帰ったエチナ川流域の居延での一万余点の漢代木簡は、当時の中国政府との約束でその全部を北京の言語学研究所に留めた筈である。わずかに二点とは言え、帛書の考古資料の価値は、木簡一千点にも勝るかも知れない。たとえ発見者であっても、ベリマンに渡すことはしないであろう。

何故、帛書が東アジア博物館に存在するのか。この謎は今日でも私の頭から去らない。

ニコニコBOX

10月12日/9件29,000円
2001~2002年度累計507,000円

多額の御寄付を有難うございました。

開発英基/山根さんのスピーチ応援しています。ところで、先日4度目のホールインワンを達成しました。入沢頼二/山根さん、イニシエーションスピーチ楽しみに拝聴致します。小湊雅亮/秋晴れです。心も晴れ晴れしたいものです。鈴木重徳/四分一さん、米山奨学生の党さんをサロンコンサートにお招き、ありがとう。岸義武/本日のアメリカンクラブでの歓迎会、楽しみにしています。村山公士/生徒が研修旅行でオーストラリアに行ってます。安全を祈念して。吉岡琢磨/早川さん、初ニコニコご苦労さま。高須さん、先週はご迷惑かけました。圓谷正和/早川さんがニコニコ担当ができるまでに成長したのを祝って。早川清隆/はじめてのニコニコです。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉真史 〔今週の担当〕圓谷正和

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111